



平成2年より3ケ年で大分県豊前海干潟域においてハマグリ増殖の実証事業を行い、その一環として耕耘ロボットシステムを開発した。漁場耕耘は底質の浮泥の除去、還元層の酸化、外敵生物の駆除などに効果があることが知られている。本実証事業において、実機を製作し、効果確認のための増殖場耕耘実験を行なった。その結果、アサリやハマグリなどの砂泥域有用二枚貝類の生息環境を改善し増殖を促す効果があることが確認された。

●ロボットの仕様

上部タンク：FRP製、下部タンク：鋼製

耕耘幅：2m（噴射ノズル：φ7mm、10cmピッチ、20個）

寸法：全長1,600mm、全幅2,000mm、全高820mm

乾燥重量：171.1kg

●特長と性能

- ・ウォータージェット水流で確実な耕耘が行なえる。（最大耕耘深さは30cm）
- ・浮沈操作は簡単。耕耘作業も船の操作だけ。
- ・牽引式なので専用船の必要はなく、汎用漁船に装着可能。
- ・ロボット本体はコンパクトで、耕耘曳牽引時の旋回性も優れている。
- ・耕耘深さをコントロールでき、出来形管理が行なえる。

●汎用漁船に搭載すべき機器

ウォータージェットポンプ、コンプレッサ、パソコン、ウィンチ、浮力調整バルブ

●種目参加会員

※^{※※}東急建設(株)

※^{※※}(株)大林組、^{※※}小松建設工業(株)、^{※※}三井造船(株)

大成建設(株)、日本テトラポッド(株)、若築建設(株)

●協力機関：大分県浅海漁業試験場

※ 幹事会社、^{※※}担当会員